

製品名: CD168 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08247**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	84kDa

抗原情報

遺伝子名	HMMR IHABP RHAMM
別名	Hyaluronan mediated motility receptor (Intracellular hyaluronic acid-binding protein;Receptor for hyaluronan-mediated motility;CD antigen CD168)
遺伝子 ID	3161.0
SwissProt ID	O75330
免疫原	アミノ酸範囲 280~340 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

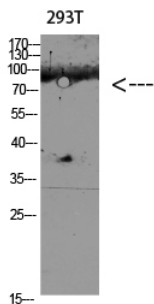
この遺伝子によってコードされるタンパク質は細胞運動に関与する。乳腺組織で発現し、他のタンパク質と共に BRCA1 および

BRCA2 と複合体を形成するため、乳がんの発症リスクの上昇と関連する可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 12 月],機能: 細胞運動に関与する。ヒアルロン酸が HMMR に結合すると、接着斑キナーゼを含む多くのタンパク質のリン酸化が起こる。また、細胞の形質転換や転移形成、細胞外制御キナーゼ (ERK) 活性の調節にも関与している可能性がある。、サブユニット: HARC 複合体のサブユニット。、組織特異性: 乳がん細胞株および正常乳腺組織で発現する。、

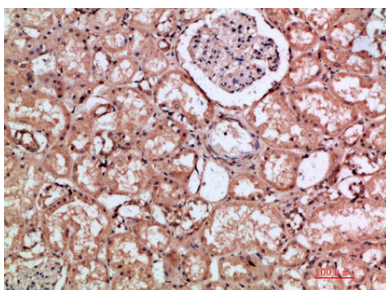
研究分野

ECM-受容体相互作用;

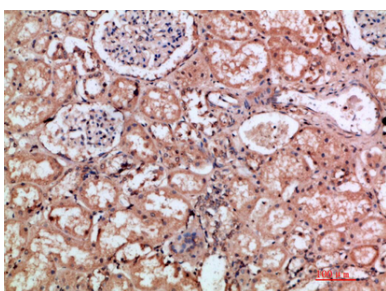
画像データ



293T ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された